

◆区長の基本姿勢について

問 ①コロナ禍の3年間で振り返り、今後重点を置く施策は。②区長の経験と実績を積んできた現在の地点から、若い世代に手渡したい価値は。③特別区長会の現状評価は。

区長 ①区民の皆さんや現場の声を真摯に受け止め、将来につながる施策を重点的・機動的に実施する。②都、日本全体の将来を見据えた新たな練馬区モデルを考え、実現に向けて積極的に取り組むよう伝えている。③児童相談体制、清掃工場の建て替え等課題山積。都の役割分担等、根本に立ち戻って議論が必要。

◆練馬区モデルの展開について
問 ①コロナ対策に係る記録誌として目配りの行き届いた資料集がまとめられた。作成の経緯と追録された外国人対応の内容は。②策定した練馬

◆区政改革の取組について
問 不断の区政改革により、区民サービスは飛躍的に充実してきた。これまでの改革の歩みを振り返り、今後の政策展開も含めた区長の思いは。

区長 後世の歴史の審判に堪える政策に取り組んできた。これまでの取組を継続・発展させながら、区民生活をより豊かにする施策に力を入れる。

◆子育て・教育施策について
問 ①学校内や通学路、区立公園において、子どもたちの命を守る防犯カメラの増設、積極的な更新を。②学校における熱中症対策として、テントやミストシャワーを配備し活用を。③大泉第二中学校の教育環境保全及び道路整備に関する取組方針を早期に策定し、校舎の高層化や地下等も活用し、大幅に教育環境を向上させる取組を。④大泉第二

区感染症予防計画で都と区の調整において改善される点は。③平時と有時を切り替える統治システムとして、地方自治法が改正された。区の認識は。

副区長 ①この間の区の対応を取りまとめ今後の対策指針となるよう作成。多言語対応による各種支援の取組等追記。

◆健康
問 ①保健所の人員、検査体制の構築、都と連携した入院調整等の確保等。②想定外の事態に万全を期す観点から、必要なものと認識。

◆教育行政の課題について
問 ①困難を抱える教育現場への新教育長の抱負は。②探求的、総合的な学習は、予測不可能な未来を生き抜く力を

小学校の改築の際は、隣接する区民農園を期間限定で有効活用し、仮運動場として児童が思い切り体を動かせる環境の担保を。⑤我が会派要望の小児インフルエンザワクチンの補助創設を感謝。詳細は。

区長 ①各公園の設置効果のさらなる分析

◆都市整備と災害対策について

◆都市整備
問 ①放射7号線の早期完成に向けた働きかけと車道の部分的開放を都に求めたい。②大泉学園駅から保谷駅間の鉄道立体化の必要性に対する区の認識は。③次期計画にて都市計画道路補助230号線と西武池袋線が交差する区間が優先整備路線となるよう働きかけを。④災害時通信手段としてスターリンクの配備を。

◆都市整備
問 ①都は未取得画地の地権者と折衝。区も支援。速やかな開放を強く働きかけ。②渋滞の発生等、課題の抜本的解決には立体化が必要と認識。③計画策定の際、本区間を含め、都市計画道路の整備の在り方を検討。④今後、他のモバイル通信機器を含め比較検討し、決定。

◆区長の本音
問 ①区長の本音
問 ②区長の本音

区長 ①区長の本音
問 ②区長の本音

◆区長の本音
問 ③区長の本音

◆区長の本音
問 ④区長の本音

◆区長の本音
問 ⑤区長の本音

◆区長の本音
問 ⑥区長の本音

◆区長の本音
問 ⑦区長の本音

◆区長の本音
問 ⑧区長の本音

◆区長の本音
問 ⑨区長の本音

◆区長の本音
問 ⑩区長の本音

◆区長の本音
問 ⑪区長の本音

◆区長の本音
問 ⑫区長の本音

◆区長の本音
問 ⑬区長の本音

◆区長の本音
問 ⑭区長の本音

◆区長の本音
問 ⑮区長の本音

◆区長の本音
問 ⑯区長の本音

◆区長の本音
問 ⑰区長の本音

◆区長の本音
問 ⑱区長の本音

◆区長の本音
問 ⑲区長の本音

◆区長の本音
問 ⑳区長の本音

◆区長の本音
問 ㉑区長の本音

◆区長の本音
問 ㉒区長の本音

◆区長の本音
問 ㉓区長の本音

◆区長の本音
問 ㉔区長の本音

◆区長の本音
問 ㉕区長の本音

◆区長の本音
問 ㉖区長の本音

◆区長の本音
問 ㉗区長の本音

◆区長の本音
問 ㉘区長の本音

◆区長の本音
問 ㉙区長の本音

◆区長の本音
問 ㉚区長の本音

◆区長の本音
問 ㉛区長の本音

◆区長の本音
問 ㉜区長の本音

◆区長の本音
問 ㉝区長の本音

◆区長の本音
問 ㉞区長の本音

◆区長の本音
問 ㉟区長の本音

◆区長の本音
問 ㊱区長の本音

◆区長の本音
問 ㊲区長の本音

◆区長の本音
問 ㊳区長の本音

◆区長の本音
問 ㊴区長の本音

◆区長の本音
問 ㊵区長の本音

◆区長の本音
問 ㊶区長の本音

◆区長の本音
問 ㊷区長の本音

◆区長の本音
問 ㊸区長の本音

◆区長の本音
問 ㊹区長の本音

◆区長の本音
問 ㊺区長の本音

◆区長の本音
問 ㊻区長の本音

◆区長の本音
問 ㊼区長の本音

◆区長の本音
問 ㊽区長の本音

◆区長の本音
問 ㊾区長の本音

◆区長の本音
問 ㊿区長の本音

◆区長の本音
問 ㋀区長の本音

◆区長の本音
問 ㋁区長の本音

◆区長の本音
問 ㋂区長の本音

◆区長の本音
問 ㋃区長の本音

◆区長の本音
問 ㋄区長の本音

◆区長の本音
問 ㋅区長の本音

◆区長の本音
問 ㋆区長の本音

◆区長の本音
問 ㋇区長の本音

◆区長の本音
問 ㋈区長の本音

◆区長の本音
問 ㋉区長の本音

◆区長の本音
問 ㋊区長の本音

◆区長の本音
問 ㋋区長の本音

◆区長の本音
問 ㋌区長の本音

◆区長の本音
問 ㋍区長の本音

◆区長の本音
問 ㋎区長の本音

◆区長の本音
問 ㋏区長の本音

◆区長の本音
問 ㋐区長の本音

◆区長の本音
問 ㋑区長の本音

◆区長の本音
問 ㋒区長の本音

◆区長の本音
問 ㋓区長の本音

◆区長の本音
問 ㋔区長の本音

◆区長の本音
問 ㋕区長の本音

◆区長の本音
問 ㋖区長の本音

◆区長の本音
問 ㋗区長の本音

◆区長の本音
問 ㋘区長の本音

◆区長の本音
問 ㋙区長の本音

◆区長の本音
問 ㋚区長の本音

◆区長の本音
問 ㋛区長の本音

◆区長の本音
問 ㋜区長の本音

◆区長の本音
問 ㋝区長の本音

◆区長の本音
問 ㋞区長の本音

◆区長の本音
問 ㋟区長の本音

◆区長の本音
問 ㊱区長の本音

◆区長の本音
問 ㊲区長の本音

◆区長の本音
問 ㊳区長の本音

◆区長の本音
問 ㊴区長の本音

◆区長の本音
問 ㊵区長の本音

◆区長の本音
問 ㊶区長の本音

◆区長の本音
問 ㊷区長の本音

◆区長の本音
問 ㊸区長の本音

◆区長の本音
問 ㊹区長の本音

◆区長の本音
問 ㊺区長の本音

◆区長の本音
問 ㊻区長の本音

◆区長の本音
問 ㊼区長の本音

◆区長の本音
問 ㊽区長の本音

◆区長の本音
問 ㊾区長の本音

◆区長の本音
問 ㊿区長の本音

◆区長の本音
問 ㋀区長の本音

◆区長の本音
問 ㋁区長の本音

◆区長の本音
問 ㋂区長の本音

◆区長の本音
問 ㋃区長の本音

◆区長の本音
問 ㋄区長の本音

◆区長の本音
問 ㋅区長の本音

◆区長の本音
問 ㋆区長の本音

◆区長の本音
問 ㋇区長の本音

◆区長の本音
問 ㋈区長の本音

◆区長の本音
問 ㋉区長の本音

◆区長の本音
問 ㋊区長の本音

◆区長の本音
問 ㋋区長の本音

◆区長の本音
問 ㋌区長の本音

◆区長の本音
問 ㋍区長の本音

◆区長の本音
問 ㋎区長の本音

◆防災対策について

◆能登半島地震をうけて
①能登半島地震をうけて食料等の区内備蓄物資の拡充を。②災害時に段ボールベッドを予定どおり供給されるかどうかを。区内備蓄を。③耐震化助成制度の額は引き上げ対象の拡大を。リフォーム等と併用できる制度に改善を。

◆危機管理
①携帯トイレやアレルギー対応食等を増量等充実。②民間事業者と協定を締結し、実効性を確保。現時点で区が備蓄する考えはない。

◆都市整備
③今後、国の補助制度の改正動向注視し検討等。

◆マイナ保険証について
①来年9月まで現行保険証が使用可能なことや資格確認が発行されること等正確な情報の周知を。②現行保険証の廃止の中止を国に求めよ。

◆区民
①10月に国保加入世帯を対象にリーフレット送付等、

◆区長の基本姿勢について
①今回の南海トラフ地震臨時情報発表を受けて、区民に対し災害への備えの重要性の周知啓発を。②ゲリラ豪雨に備えて、内水氾濫の予測を事前に周知する取組を。

◆副区長
①区民一人一人が災害を自分事として捉え、行動変容につながるよう、伝わる周知に努め、災害対策の強化に取り組む。危機管理
②気象情報を収集し、ホームページ等により即時、情報を発信。

◆今後の保育需要について
①保育に関する保護者のニーズは年々変化。保育を必要とする年齢層の増減等に合わせ、適切に対応することは必要。0歳児の必要定員数について現在の区の考えは。②保護者が望む安定的で継続的な保育が可能な環境の整備を。

◆区長
①②様々な子育てニーズを抱える方が必要なサポートを受け、他の従業員と共に働き活躍する社会的企業

◆働く人の処遇改善について

①会計年度任用職員の任用上限回数撤廃を。②区として公契約条例の制定を。

◆人事戦略
①国の動向踏まえ、見直しを検討。②考えはない。

◆ジェンダー平等について
①男女の賃金格差は、正

◆能登半島地震をうけての防災対策の強化を
日本共産党練馬区議団
島田 拓

①セーフティネットである区立デイサービスは持続を。②富士見台特養の廃止は、民営化の議論の中で、大規模改修は区が責任を持って進めると説明していた約束を反故にするもの。計画は見直し。

◆高年齢施策
①廃止する計画を見直す考えはない。②富士見台特養と関町特養を合築する

◆子ども視力低下について
①急速なデジタルデバイス普及で、長時間の使用による子どもの視力低下が深刻な問題。子どもたちへの健康について知識を深める取組は。

◆教育長
保健体育科の学習の中で指導。タブレット利用のルールを周知方法を工夫。

◆熱中症について

◆ふるさと納税について

①ふるさと納税制度に対する区長の認識と行動は。②体験型返礼寄附の拡充を。

◆区長
①住民自らが住民サービスの経費を負担するという

◆福祉施策について
①東京都練馬児童相談所の開設から3か月が経過。現状の取組は。②困難な問題を抱える女性への居場所事業実施に当たっては、女性支援に取り組み区内事業者と協力を。

③国の制度改正等を踏まえ、積極的に住宅要配慮者の住まい確保支援に取り組みべき。

◆練馬区モデルのさらなる拡充を！
練馬区議会自由民主党
高橋 じゅん

◆防災まちづくりについて
①防災まちづくりの推進は、防災意識の醸成に向け取り組む。魅力的な体験プログラム等を検討。

◆区内の産業振興について
①緊急経営支援特別貸付の実績と終了の理由は。②テ

◆地域文化
アットリーチ型の事業充実を予定。訴求力のある広報を展開し、魅力発信。

◆公園整備について
①PARK・PFI活用を。②稲荷山公園整備事業は丁寧な対話と説明を。③早宮2丁目新設する公園は、特色のある公園となるよう検討すべき。

◆土木
①平成つづき公園では民間のノウハウ等を活用し管理方法検討。②節目ごとに周知。意見聞き進める。③周辺公園の特色等踏まえ取り組み

◆環境
実施する考えはない。

◆若者支援について
①若者の孤独死に関する報道にあるような若者の実態を把握しているか。②二十歳のついでフルタイム引換券等をギフトにしては。

◆子どもたちのためにジェンダー平等な社会を

①システム構築に携わる人材の確保や育成計画は。②システム標準化により区独自サービスや取組が難しくなる等問題があるのでは。

◆副区長
ICT職の採用や、都との職員派遣、研修等でスキルアップにつなげている。

②自治体独自のサービスについて機能の改変や追加は可能

①共同親権導入は影響範囲が多い。全職員への研修実施を。②支援現場のトラブルに備え対策を。③DV加害者向けプログラムの実施を。④子どもの視点に立ち、共同養育計画や子ども意見の聞く仕組みづくり等の検討を。

①死亡は不明だが、令和3年の区内単身世帯自宅死亡者で、39歳以下の若者は34人。②果物を使用した加工品等、商品拡充に努める。

◆情報政策とガバメントクラウドについて
①システム構築に携わる人材の確保や育成計画は。②システム標準化により区独自サービスや取組が難しくなる等問題があるのでは。

◆副区長
ICT職の採用や、都との職員派遣、研修等でスキルアップにつなげている。

②自治体独自のサービスについて機能の改変や追加は可能

①共同親権導入は影響範囲が多い。全職員への研修実施を。②支援現場のトラブルに備え対策を。③DV加害者向けプログラムの実施を。④子どもの視点に立ち、共同養育計画や子ども意見の聞く仕組みづくり等の検討を。

①死亡は不明だが、令和3年の区内単身世帯自宅死亡者で、39歳以下の若者は34人。②果物を使用した加工品等、商品拡充に努める。

◆情報政策とガバメントクラウドについて
①システム構築に携わる人材の確保や育成計画は。②システム標準化により区独自サービスや取組が難しくなる等問題があるのでは。

◆副区長
ICT職の採用や、都との職員派遣、研修等でスキルアップにつなげている。

◆子どもたちのためにジェンダー平等な社会を

①システム構築に携わる人材の確保や育成計画は。②システム標準化により区独自サービスや取組が難しくなる等問題があるのでは。

◆副区長
ICT職の採用や、都との職員派遣、研修等でスキルアップにつなげている。

②自治体独自のサービスについて機能の改変や追加は可能

①共同親権導入は影響範囲が多い。全職員への研修実施を。②支援現場のトラブルに備え対策を。③DV加害者向けプログラムの実施を。④子どもの視点に立ち、共同養育計画や子ども意見の聞く仕組みづくり等の検討を。

①死亡は不明だが、令和3年の区内単身世帯自宅死亡者で、39歳以下の若者は34人。②果物を使用した加工品等、商品拡充に努める。

◆情報政策とガバメントクラウドについて
①システム構築に携わる人材の確保や育成計画は。②システム標準化により区独自サービスや取組が難しくなる等問題があるのでは。

◆副区長
ICT職の採用や、都との職員派遣、研修等でスキルアップにつなげている。

②自治体独自のサービスについて機能の改変や追加は可能

①共同親権導入は影響範囲が多い。全職員への研修実施を。②支援現場のトラブルに備え対策を。③DV加害者向けプログラムの実施を。④子どもの視点に立ち、共同養育計画や子ども意見の聞く仕組みづくり等の検討を。

①死亡は不明だが、令和3年の区内単身世帯自宅死亡者で、39歳以下の若者は34人。②果物を使用した加工品等、商品拡充に努める。

◆情報政策とガバメントクラウドについて
①システム構築に携わる人材の確保や育成計画は。②システム標準化により区独自サービスや取組が難しくなる等問題があるのでは。

◆副区長
ICT職の採用や、都との職員派遣、研修等でスキルアップにつなげている。

◆子どもたちのためにジェンダー平等な社会を

①システム構築に携わる人材の確保や育成計画は。②システム標準化により区独自サービスや取組が難しくなる等問題があるのでは。

◆副区長
ICT職の採用や、都との職員派遣、研修等でスキルアップにつなげている。

②自治体独自のサービスについて機能の改変や追加は可能

①共同親権導入は影響範囲が多い。全職員への研修実施を。②支援現場のトラブルに備え対策を。③DV加害者向けプログラムの実施を。④子どもの視点に立ち、共同養育計画や子ども意見の聞く仕組みづくり等の検討を。

①死亡は不明だが、令和3年の区内単身世帯自宅死亡者で、39歳以下の若者は34人。②果物を使用した加工品等、商品拡充に努める。

◆情報政策とガバメントクラウドについて
①システム構築に携わる人材の確保や育成計画は。②システム標準化により区独自サービスや取組が難しくなる等問題があるのでは。

◆副区長
ICT職の採用や、都との職員派遣、研修等でスキルアップにつなげている。

②自治体独自のサービスについて機能の改変や追加は可能

①共同親権導入は影響範囲が多い。全職員への研修実施を。②支援現場のトラブルに備え対策を。③DV加害者向けプログラムの実施を。④子どもの視点に立ち、共同養育計画や子ども意見の聞く仕組みづくり等の検討を。

①死亡は不明だが、令和3年の区内単身世帯自宅死亡者で、39歳以下の若者は34人。②果物を使用した加工品等、商品拡充に努める。

◆情報政策とガバメントクラウドについて
①システム構築に携わる人材の確保や育成計画は。②システム標準化により区独自サービスや取組が難しくなる等問題があるのでは。

◆副区長
ICT職の採用や、都との職員派遣、研修等でスキルアップにつなげている。

◆子どもたちのためにジェンダー平等な社会を

①システム構築に携わる人材の確保や育成計画は。②システム標準化により区独自サービスや取組が難しくなる等問題があるのでは。

◆副区長
ICT職の採用や、都との職員派遣、研修等でスキルアップにつなげている。

②自治体独自のサービスについて機能の改変や追加は可能

①共同親権導入は影響範囲が多い。全職員への研修実施を。②支援現場のトラブルに備え対策を。③DV加害者向けプログラムの実施を。④子どもの視点に立ち、共同養育計画や子ども意見の聞く仕組みづくり等の検討を。

①死亡は不明だが、令和3年の区内単身世帯自宅死亡者で、39歳以下の若者は34人。②果物を使用した加工品等、商品拡充に努める。

◆情報政策とガバメントクラウドについて
①システム構築に携わる人材の確保や育成計画は。②システム標準化により区独自サービスや取組が難しくなる等問題があるのでは。

◆副区長
ICT職の採用や、都との職員派遣、研修等でスキルアップにつなげている。

②自治体独自のサービスについて機能の改変や追加は可能

①共同親権導入は影響範囲が多い。全職員への研修実施を。②支援現場のトラブルに備え対策を。③DV加害者向けプログラムの実施を。④子どもの視点に立ち、共同養育計画や子ども意見の聞く仕組みづくり等の検討を。

①死亡は不明だが、令和3年の区内単身世帯自宅死亡者で、39歳以下の若者は34人。②果物を使用した加工品等、商品拡充に努める。

◆情報政策とガバメントクラウドについて
①システム構築に携わる人材の確保や育成計画は。②システム標準化により区独自サービスや取組が難しくなる等問題があるのでは。

◆副区長
ICT職の採用や、都との職員派遣、研修等でスキルアップにつなげている。

◆子どもたちのためにジェンダー平等な社会を

①システム構築に携わる人材の確保や育成計画は。②システム標準化により区独自サービスや取組が難しくなる等問題があるのでは。

◆副区長
ICT職の採用や、都との職員派遣、研修等でスキルアップにつなげている。

②自治体独自のサービスについて機能の改変や追加は可能

①共同親権導入は影響範囲が多い。全職員への研修実施を。②支援現場のトラブルに備え対策を。③DV加害者向けプログラムの実施を。④子どもの視点に立ち、共同養育計画や子ども意見の聞く仕組みづくり等の検討を。

①死亡は不明だが、令和3年の区内単身世帯自宅死亡者で、39歳以下の若者は34人。②果物を使用した加工品等、商品拡充に努める。

◆情報政策とガバメントクラウドについて
①システム構築に携わる人材の確保や育成計画は。②システム標準化により区独自サービスや取組が難しくなる等問題があるのでは。

◆副区長
ICT職の採用や、都との職員派遣、研修等でスキルアップにつなげている。

②自治体独自のサービスについて機能の改変や追加は可能

①共同親権導入は影響範囲が多い。全職員への研修実施を。②支援現場のトラブルに備え対策を。③DV加害者向けプログラムの実施を。④子どもの視点に立ち、共同養育計画や子ども意見の聞く仕組みづくり等の検討を。

①死亡は不明だが、令和3年の区内単身世帯自宅死亡者で、39歳以下の若者は34人。②果物を使用した加工品等、商品拡充に努める。

◆情報政策とガバメントクラウドについて
①システム構築に携わる人材の確保や育成計画は。②システム標準化により区独自サービスや取組が難しくなる等問題があるのでは。

◆副区長
ICT職の採用や、都との職員派遣、研修等でスキルアップにつなげている。

回答者の略称

企画：企画部長 危機管理：危機管理室長 総務：総務部長 人事戦略：人事戦略担当部長 区民：区民部長 産業経済：産業経済部長 地域文化：地域文化部長

福祉：福祉部長 高齢施策：高齢施策担当部長 健康：健康部長 保健所：練馬区保健所長 環境：環境部長 都市整備：都市整備部長 土木：土木部長

教育振興：教育振興部長 こども：こども家庭部長

◆各種支援の在り方について

問 ①生活困窮者の居場所支援で積極的に個人にセラピー等を行っているか。②自然との触れ合いはウエルビーイングにつながる。練馬区らしい都市農業やみどりの強みを生かした取組を。③子ども家庭支援センターで親の成長につながる支援は。④対人援助を行う職員や教員へのコミュニケーション力向上の取組は。

福祉

①心理的なケアを含めた支援を実施。②今後も地域の資源を生かした支援の充実を検討。教育長 ③都児相と連携し、保護者が学べるケアプログラム実施等。④都等が実施する研修受講等により、支援技術の向上を図っている。

◆心の健康診断について

問 ①国保加入者に年1回のメンタルの状態確認を。②ポジティブ心理学等、心の健康

◆幼稚園と保育園について

問 ①これまで、子どもたちの人格形成の基礎を培う重要な役割を担ってきた幼稚園は、園児数が減少。共働き家庭の増加等の社会的要因や保育園との支援制度の格差が影響と考える。区の状態認識は。②練馬こども園職員に対する家賃補助制度は「採用10年目まで」。制限の撤廃を。③定員充足率が下れば保育園の経営悪化につながる。経営悪化が問題となる前に戦略を検討する必要がある。区の考えは。④保育園の経営支援を行う窓口の設置を。⑤療育が可能な保育園実現の検討を。

教育長

①区の調査では約3割の保護者が預かり保育のある幼稚園に通わせたい意向。引き続き、各種支援を行い、各園が幼児教育・保育を安定して提供できるよう取り組む。

◆一人ひとりが成長できるコーチング支援を

練馬区議会日本維新の会 一人ひとりが成長できるコーチング支援を

練馬区議会日本維新の会

1トを年3回実施。心の状態の把握に努めている。保健の授業で話し合いや実習を通じて学べるようにしている。

◆アニメを活用した施策について

問 アニメプロジェクト 大泉は区内で制作された句のアニメや練馬区が舞台の作品、声優を呼ぶ等新たな企画を。

◆子育て環境の向上について

問 ①児童クラブの事業内容・環境の向上を。②児童館は

◆産業経済

来年度に向け検討。増加を。③子どものメンタルの状況把握の方法は。自分を癒す方法を学ぶ機会を。④メンタルヘルスの重要性について加入者に啓発を。⑤各保健相談所で毎年講演会を開催。教育長 ③全児童生徒を対象にアンケート

◆公園・緑地の在り方について

問 ①似たような公園が多い。ボール遊びや水遊び等機能を分けた特徴ある公園づくりを。②緑地をドッグランにする等、効果的な活用方法等の検討は。区長 ①②豊かなみどりに恵まれた、特色ある公園が数多

◆都市農業について

問 ①農家へのヒアリングは何を重点に聞いているのか。②必要に応じて支援の提案を。副区長 ①営農継続に必要な労働力の有無、農地貸借の意向等。②農業者のニーズに沿った支援を実施する。

◆トイレの環境改善について

問 生理用品を無料で提供するサービス導入と男女ともにサニタリーボックスの設置を。福祉 今後、生理用品の配布状況等を踏まえ、研究。

◆子育て環境の向上について

問 ①児童クラブの事業内容・環境の向上を。②児童館は

◆重層的支援体制整備事業とFISOAIPについて

問 ①区は国の重層的支援体制整備事業を活用し、どのような支援体制を構築する考えか。②FISOAIPの普及に向けた研修会の開催等を。また、福祉や子ども関連等幅広い分野で導入を。

◆地域公共交通について

問 女性運転手確保のために職場環境整備を行うバス事業者に対し、補助の実施を。都市整備 周辺区市と連携し、支援の在り方を議論する。

◆区長の基本姿勢について

問 まちづくりは生活やコミュニティの在り方も含め住民との合意形成が不可欠。住民自身が決めるプロセスは自治意識向上につながる。考えは。企画 議会制民主主義のもとで、何が区民全体の利益かを判断するのは、区民の代表である区議会と区長の責任。それを前提に政策形成から実行段階まで区民の参加と協働の取組を実現することが必要。

◆防災について

問 マンション防災会の活動支援として防災マニュアル作成時の助言や配管チェックをする事業者との連携の必要性等、呼びかけが必要。考えは。危機管理 防災会の組織化やマニュアル作成等を支援して

◆経済対策とデジタル地域通貨について

問 ①区内労働者と業界の多様なマッチングの機会を提供すべき。②商店街の経済対策にデジタル地域通貨の検討を。産業経済 ①今年度、様々な業種の事業者と求職者をマッチングする交流会や合同説明会を実施。引き続き支援。②他自治体の動向を注視。

◆太陽光パネル設置義務化の問題点について

問 ①太陽光パネル設置のコスト負担が甚大。子育て世帯の負担軽減のためランニングコストの補助や補填を行う予定は。②地震発生時の発火や

◆環境

①区独自に補助する考えはない。引き続き、国や都

◆区長の基本姿勢について

問 まちづくりは生活やコミュニティの在り方も含め住民との合意形成が不可欠。住民自身が決めるプロセスは自治意識向上につながる。考えは。企画 議会制民主主義のもとで、何が区民全体の利益かを判断するのは、区民の代表である区議会と区長の責任。それを前提に政策形成から実行段階まで区民の参加と協働の取組を実現することが必要。

◆防災について

問 マンション防災会の活動支援として防災マニュアル作成時の助言や配管チェックをする事業者との連携の必要性等、呼びかけが必要。考えは。危機管理 防災会の組織化やマニュアル作成等を支援して

◆経済対策とデジタル地域通貨について

問 ①区内労働者と業界の多様なマッチングの機会を提供すべき。②商店街の経済対策にデジタル地域通貨の検討を。産業経済 ①今年度、様々な業種の事業者と求職者をマッチングする交流会や合同説明会を実施。引き続き支援。②他自治体の動向を注視。

◆太陽光パネル設置義務化の問題点について

問 ①太陽光パネル設置のコスト負担が甚大。子育て世帯の負担軽減のためランニングコストの補助や補填を行う予定は。②地震発生時の発火や

◆環境

①区独自に補助する考えはない。引き続き、国や都

◆区長の基本姿勢について

問 まちづくりは生活やコミュニティの在り方も含め住民との合意形成が不可欠。住民自身が決めるプロセスは自治意識向上につながる。考えは。企画 議会制民主主義のもとで、何が区民全体の利益かを判断するのは、区民の代表である区議会と区長の責任。それを前提に政策形成から実行段階まで区民の参加と協働の取組を実現することが必要。

◆防災について

問 マンション防災会の活動支援として防災マニュアル作成時の助言や配管チェックをする事業者との連携の必要性等、呼びかけが必要。考えは。危機管理 防災会の組織化やマニュアル作成等を支援して

◆経済対策とデジタル地域通貨について

問 ①区内労働者と業界の多様なマッチングの機会を提供すべき。②商店街の経済対策にデジタル地域通貨の検討を。産業経済 ①今年度、様々な業種の事業者と求職者をマッチングする交流会や合同説明会を実施。引き続き支援。②他自治体の動向を注視。

◆太陽光パネル設置義務化の問題点について

問 ①太陽光パネル設置のコスト負担が甚大。子育て世帯の負担軽減のためランニングコストの補助や補填を行う予定は。②地震発生時の発火や

◆環境

①区独自に補助する考えはない。引き続き、国や都

◆区長の基本姿勢について

問 まちづくりは生活やコミュニティの在り方も含め住民との合意形成が不可欠。住民自身が決めるプロセスは自治意識向上につながる。考えは。企画 議会制民主主義のもとで、何が区民全体の利益かを判断するのは、区民の代表である区議会と区長の責任。それを前提に政策形成から実行段階まで区民の参加と協働の取組を実現することが必要。

◆防災について

問 マンション防災会の活動支援として防災マニュアル作成時の助言や配管チェックをする事業者との連携の必要性等、呼びかけが必要。考えは。危機管理 防災会の組織化やマニュアル作成等を支援して

◆経済対策とデジタル地域通貨について

問 ①区内労働者と業界の多様なマッチングの機会を提供すべき。②商店街の経済対策にデジタル地域通貨の検討を。産業経済 ①今年度、様々な業種の事業者と求職者をマッチングする交流会や合同説明会を実施。引き続き支援。②他自治体の動向を注視。

◆太陽光パネル設置義務化の問題点について

問 ①太陽光パネル設置のコスト負担が甚大。子育て世帯の負担軽減のためランニングコストの補助や補填を行う予定は。②地震発生時の発火や

◆環境

①区独自に補助する考えはない。引き続き、国や都

◆区長の基本姿勢について

問 まちづくりは生活やコミュニティの在り方も含め住民との合意形成が不可欠。住民自身が決めるプロセスは自治意識向上につながる。考えは。企画 議会制民主主義のもとで、何が区民全体の利益かを判断するのは、区民の代表である区議会と区長の責任。それを前提に政策形成から実行段階まで区民の参加と協働の取組を実現することが必要。

◆防災について

問 マンション防災会の活動支援として防災マニュアル作成時の助言や配管チェックをする事業者との連携の必要性等、呼びかけが必要。考えは。危機管理 防災会の組織化やマニュアル作成等を支援して

◆経済対策とデジタル地域通貨について

問 ①区内労働者と業界の多様なマッチングの機会を提供すべき。②商店街の経済対策にデジタル地域通貨の検討を。産業経済 ①今年度、様々な業種の事業者と求職者をマッチングする交流会や合同説明会を実施。引き続き支援。②他自治体の動向を注視。

◆太陽光パネル設置義務化の問題点について

問 ①太陽光パネル設置のコスト負担が甚大。子育て世帯の負担軽減のためランニングコストの補助や補填を行う予定は。②地震発生時の発火や

◆環境

①区独自に補助する考えはない。引き続き、国や都

一般質問(要目)

すべての人の人権を守るまちを区民と共に

生活者ネットワーク 山崎 まりも

問 ひとりひとりが成長できるコーチング支援を。練馬区議会日本維新の会

◆女性の権利について

問 ①子どもが日常的に自分の意見が受け止められていると感じられるよう、子ども同士、大人等との対話の場を増やすべき。子どもの権利条約は、子どもが自分の権利を知り、大人が最善の利益の保障を約束すること。条例を制定せよ。教育長 様々な場面を捉えて子どもの意見を施策や事業に反映。教育・子育て大綱や子ども・子育て支援事業計画に基づき施策の実施を通して、子どもの権利擁護を図っている。区条例制定の考えはない。

◆歴史教科書採択について

問 ①いわゆる自虐史観の教科書が長く使われている。評価基準は内容に特化し、記載内容を定量的に評価すべき。区の見解は。②議会での教育委員の選任は、調査する期間を設けることはできないか。教育長 ①定量的な評価は困難。可能な限り客観性を確保するため、評価基準を設定。②他の特別職人事案件と同様の取扱い。変更の考えはない。引き続き丁寧に対応。③学校給食の質の改善について ①有機米を使用した給食の実施検討を。②牛乳の全食提供は子どもや親の意思で選択できる形にできないか。教育長 ①恒常的な対応は困難。②アレルギー等には適切に個別対応。要望のみにより除外する考えはない。

◆太陽光パネル設置義務化への財政支援を!

練馬区議会参政党 ももかわ 一郎